



## 絵 本・・・・・・・・・・51ページ

選書については、より多くの子ども達に愛され長く読み継がれている、名作といわれる優れた絵本を、未長く子ども達に伝えていくものとしてまず選び、更に、町内の公立小・中・高校、保育園の先生方、読書ボランティアの方々から、日ごろの読書活動を通して、子ども達の顔を思い浮かべながら推薦していただいた絵本を選定しました。

## 昔 話・・・・・・・・・・63ページ

「昔話」として選書したもののうち、絵本として広く親しまれているものについては「絵本」に収録しましたので、ここでは、「読みもの」或いは「語り」として、長く読み継がれ親しまれている作品について収録しています。

## 詩・・・・・・・・・・71ページ

子どもたちに是非親しんで欲しい、知ってほしい作品を紹介していますが優れた詩や詩集は沢山出版されています。

76ページに掲載した「おすすめしたい詩集」は、機会を得て手にしていただきたい作品をあげてみました。

## 読みもの・・・・・・・・・・77ページ

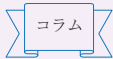
幼年童話と思われるものについては、書名の帯を色分けで示しています。しかし、子どもの成長は極めて個別的であり、環境も大きな要因となりますので、あくまでも参考として示してみたものです。

幼年童話＝幼児・幼年期(就学前～小学1・2年ごろ)の子どもを  
読者対象とした文学を幼年童話と呼ぶ。

【『児童文学事典』(日本児童文学学会編  
東京書籍より)】



- ・えとせとらコーナー～読書の世界を虹色に～……………131 頁～ジ
- ・愛川町のブックスタート……………132 頁～ジ
- ・愛川町の読書ボランティア……………133 頁～ジ
- ・参考文献・参考資料……………134 頁～ジ
- ・索引(五十音順) ……………136 頁～ジ



## コ ラ ム

- ・赤ちゃんが泣くのはどういう時？《百々 佑利子》…………… 4 頁～ジ
- ・本を選ぶ時どのようなことに気をつけたら？《愛川町子どもの読書を推進する会》…………… 4 頁～ジ
- ・「読み聞かせ」で大事にしておきたいことは？《愛川町子どもの読書を推進する会》…………… 4 頁～ジ
- ・絵本は、大人が子どもに読んであげる本です《松居 直》…………… 5 頁～ジ
- ・子どもが本好きになるか否かは、絵本の中で味わった楽しみの量によります《斎藤惇夫》…………… 5 頁～ジ
- ・絵本と紙芝居は車の両輪です《まついのりこ》…………… 30 頁～ジ
- ・昔話とは何だろう《小澤俊夫》…………… 63 頁～ジ
- ・昔話は物語の宝庫、人間の心を解く鍵《斎藤惇夫》…………… 63 頁～ジ
- ・昔話には、いろいろな特性がある《愛川町子どもの読書を推進する会》…………… 70 頁～ジ
- ・物語を通して教えてくれるもの《百々 佑利子》…………… 77 頁～ジ
- ・大事な想像力はどのようにして培われるの？《愛川町子どもの読書を推進する会》…………… 77 頁～ジ
- ・人生に三度読むべき絵本《柳田邦男》…………… 141 頁～ジ
- ・音楽を聴き、絵を楽しみ、詩や物語を読み、まず自分自身を磨くこと！《斎藤惇夫》…………… 142 頁～ジ

※作品の配列については、各ジャンルとも、発達段階に配慮して掲載してありますが、どの作品がどのページに載っているかは、巻末の索引をご利用ください。ページ数の関係で、とりあげる作品数が限られていますので、紹介文を載せられない作品については、「そのほかにおすすめしたい…」というページに、書名を掲載しています。

※書誌情報は、書名、著者名、画家名、翻訳者名、出版社、発行年などを記載しています。発行年に（ ）を付して示した数字は日本で初めて出版された年です。原作が外国の場合は《 》内に国名と初版発行年を示しました。

※紹介文中、丸G体(黒字)表記内の「 」は、原本からそのまま引用しているものです。明朝体(青字)表記内の、『 』は書名、「 」はシリーズ名です。動物などの名称は、原本表記にしたがっているため、作品によって、カタカナ表記だったり、ひらがな表記だったりしています。算用数字・漢数字も同様です。

※工藤直子、まついのりこ両氏のイラスト描画については、ご本人の了解をいただいて掲載しています。